

枚方淀川探鳥会2024年10月

2024年(令和6年)10月6日(日) 9:00~12:00
 日本野鳥の会大阪支部
 前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
 松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月の鳥・ノビタキ



雄 秋のノビタキ 幅良三(20221002) 雌

←ノビタキ2態

今月は秋の渡り鳥のノビタキを見たいとの思いがあり、2年前探鳥会(20221002)で幅良三氏が写された秋のノビタキ雄・雌を並べました。今日も観察できれば、良いのですが。

①枚方淀川探鳥会でのノビタキ 次ページの探鳥会観察リストは、平が牧野探鳥会リーダーとして参加した2012年1月~2023年12月まで12年間での鳥の観察回数を記録した。観察回数が一番多いのはNo463ヒヨドリの115回であるが、No542ノビタキ観察回数は13回、すなわち一年に1回程度観察しているとの結果である。

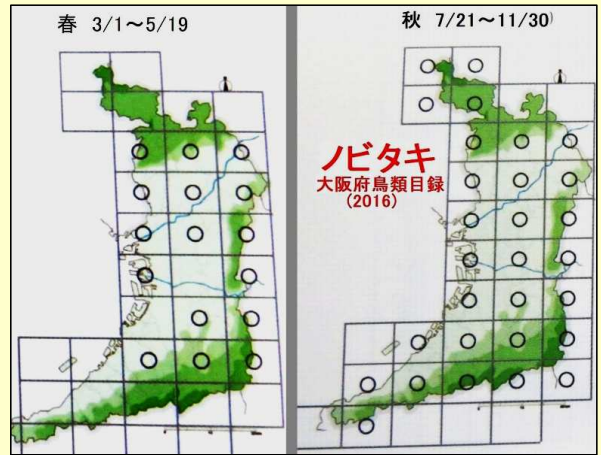
ノビタキは春の渡りでも観察することがあるも少なく、ほとんどは秋の渡りで観察している。牧野駅スタートの頃は10月探鳥会は、「ノビタキコース」と称して、牧野ゴルフ場の駐車場近くを回るコースに変更して、ノビタキを観察していた。現在の枚方淀川コースでは御殿山駅への堤防付近の田んぼにノビタキがいる筈なので、探して観察したい。



春のノビタキ雄 沖光二(20190406)

②大阪府のノビタキ→ (大阪府鳥類目録2016)

大阪府での観察状況を春と秋と比較してみると右図の通り、春より秋が観察範囲が広い。
 枚方淀川探鳥会での観察頻度と同様、春の観察はあまり多くないことがわかる。



③ノビタキ繁殖地 (全国鳥類繁殖調査) (鳥類繁殖分布調査会)

本州中部・北部の高地と、北海道全域に夏鳥として分布する。北海道では海岸近くの草原や、農耕地などの開けた環境で繁殖する。1990年代から2010年代にかけて、北海道では記録メッシュ数が増加している。

ノビタキ 分類:スズメ目ヒタキ科 Siberian Stonechat *Saxicola torquatus*

全長:13cm 翼長:64-71mm ふと長:21-23mm 体重:12-16g

環境省レッドリスト: —

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	76	67	17
1997-2002	54	91	23
2016-2021	60	124	18

調査地数

1997-2002	170
2016-2021	182



II 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024										日本 鳥類 目録	
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6		
5	キジ	49				3	2	3				夏		5
10	マガン	0				1						休		10
21	ツクシガモ	1	3	1								み		21
26	オカヨシガモ	47	3	26	38	8								26
27	ヨシガモ	16	6	11	19	2								27
28	ヒドリガモ	44	2			3								28
29	アメリカヒドリ	5												29
30	マガモ	56		2										30
32	カルガモ	91			2	4	7	3				○		32
34	ハシビロガモ	9												34
35	オナガガモ	8												35
36	シマアジ	1												36
37	トモエガモ	1												37
38	コガモ	59	1											38
42	ホシハジロ	40	48	70	33	2								42
43	アカハジロ	4		1										43
46	キンクロハジロ	42	114	275	67	31								46
47	スズガモ	6												47
58	ミコアイサ	1												58
59	カワアイサ	46	15	6										59
60	ウミアイサ	3												60
62	カイツブリ	46	1	1		2								62
64	カムリカイツブリ	57	4	9	2	5	1							64
66	ハジロカイツブリ	4												66
74	キジバト	112	3	10	6	4	7	2	2			○		74
83	シロエリオオハム	1												83
127	カワウ	111	9	16	6	3	11	5	6			○		127
139	ゴイサギ	10												139
141	ササゴイ	15				2	1	1						141
143	アマサギ	2					3							143
144	アオサギ	113	4	2	10	4	1	1	2			○		144
146	ダイサギ	109	2	3	3	2	1	6	1			○		146
148	コサギ	100	3	4	1	2	1	3	3			○		148
153	ヘラサギ	1												153
154	クロツラヘラサギ	1												154
166	クイナ	12												166
170	ヒクイナ	7												170
174	バン	23												174
175	オオバン	48	53	122	54	66	8							175

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024										日本 鳥類 目録	
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6		
185	ホトトギス	2										夏		185
187	ツツドリ	2										休		187
188	カッコウ	1										み		188
192	アマツバメ	2												192
194	タゲリ	1												194
195	ケリ	27												195
202	イカルチドリ	9												202
203	コチドリ	30			1		5							203
204	シロチドリ	4												204
219	タシギ	4	1											219
227	チュウシャクシギ	2												227
235	アオアシシギ	1												235
239	クサシギ	3												239
241	キアシシギ	1						4						241
244	イソシギ	80	2	3	1	1	1					○		244
251	トウネン	1												251
266	ハマシギ	1												266
286	ユリカモメ	22												286
293	ウミネコ	3												293
294	カモメ	3												294
299	セグロカモメ	19		1										299
307	コアジサシ	9												307
339	ミサゴ	66	1	2	2	1	1	1						339
340	ハチクマ	2												340
342	トビ	92	2	2	1	3	3	2	1			○		342
349	チュウヒ	1		1										349
350	ハイロチュウヒ	1												350
355	ハイタカ	33	1	2										355
356	オオタカ	25		1	1									356
357	サシバ	1												357
358	ノスリ	34	1	1										358
366	オオコノハズク	1												366
383	カワセミ	97	1		1		3	1	2			○		383
388	アリスイ	9												388
390	コゲラ	94	2	3		1	1	1						390
393	アカゲラ	6												393
401	チョウゲンボウ	53	1		1	2								401
407	ハヤブサ	26	1		2		1	1						407

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024										日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	
412	サンショウクイ	1										夏	412
418	サンコウチョウ	1										休	418
420	モズ	103	7	6	3	6	1	2	3	み	○		420
435	ハシボソガラス	114	11	17	14	7	12	8	4		○		435
436	ハシブガラス	111	3	4		3		2			○		436
438	クイタダキ	8											438
439	ツリスガラ	1											439
442	ヤマガラ	7											442
443	ヒガラ	1											443
445	シジュウカラ	106	7	4	6	12	5	2	4		○		445
452	ヒバリ	64									○		452
455	シヨウドウツバメ	6											455
457	ツバメ	58				11	18	20	45		○		457
459	コシアカツバメ	20							15		○		459
461	イワツバメ	46	100		30	1	60	3	10		○		461
463	ヒヨドリ	115	153	120	32	74	36	10	40		○		463
464	ウグイス	109	6	4	4	10	16	5	5				464
466	エナガ	87	5	9	6	3							466
476	オオムシクイ	5											476
477	メボソムシクイ	5											477
479	エゾクシクイ	1											479
480	センダイムシクイ	7											480
483	メジロ	92	8	3	4	7	2	6	6		○		483
492	オオヨシキリ	30					3	8	3				492
499	セッカ	29					8	1	3				499
506	ムクドリ	102	13	35	2	33	14	76	13		○		506
508	コムクドリ	5											508
511	ホシムクドリ	2											511
520	マミチャジナイ	1											520
521	シロハラ	51	2	1									521
522	アカハラ	2											522
525	ツグミ	55	4	27	30	11							525
533	ノゴマ	1											533
536	ルリビタキ	1											536
540	ジョウビタキ	55	1	2	2								540
542	ノビタキ	13											542
549	イソヒヨドリ	33		1	1						○		549

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024										日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	
552	エゾビタキ	8										夏	552
553	サメビタキ	1										休	553
554	コサメビタキ	17										み	554
558	キビタキ	16											558
560	オジロビタキ	1											560
561	オオルリ	4											561
569	スズメ	114	26	33	24	25	24	10	23		○		569
573	キセキレイ	36	1	2	1								573
574	ハクセキレイ	105	8	14	8	4	1	6	1		○		574
575	セグロセキレイ	102	2	2	2		1						575
584	タヒバリ	29	2	6	25	2							584
586	アトリ	29											586
587	カワラヒワ	104	35	31	36	11	4	14	2				587
588	マヒワ	6											588
592	ベニマシコ	44											592
600	シメ	41		1									600
602	イカル	17											602
610	ホオジロ	109		8	2	6	11	10	4		○		610
614	ホオアカ	6											614
617	カシラダカ	23											617
618	ミヤマホオジロ	1											618
624	アオジ	65	6	12	9	4							624
628	オオジュリン	17											628
	コジュケイ	13											
	カワラバト(ドバト)	110	23	130	56	14	13	17	1		○		
	ハッカチョウ	1											
	カッコウSP	5											
	アイガモ	3							2				
	メボソムシクイSP	5					1						
	ヒタキSP	3											
	種数合計(自動計算)		49	48	41	39	36	33	26		25		
	個体数合計(自動計算)		709	1047	548	393	290	239	202				
	探鳥会参加者数		24	17	27	24	32	26	17		9		
11 年 間	1~2回		2012年1月~2023年12月の11年間に観察回数の少ない種・多い種、更に樹林伐採の影響を受けると思われる種をリストアップした。										
	100回以上												
	今後樹林伐採影響												

Ⅲ 先月(9月1日)探鳥会報告

(写真 平 軍二)



アオサギ



ダイサギ



コサギ



カワウ



ハクセキレイ

出発地点でイソヒヨドリ、淀川堤防に出たところでいつものアオサギ、河川敷に入ると草むら上を飛び回るツバメ、草むらを歩くハクセキレイ、草むらから木々へ移動するムクドリ・モズ、久しぶりにヒバリの飛翔も見ることができた。

淀川本流は流れが速く浅瀬もなく水面に顔を出した木の枝にカワウ、河川公園「多自然池」で流れてきたごみの近くで餌探しをしているカルガモがいたのみだった。天野川合流付近ではアオサギ・ダイサギ・コサギのサギ3種を確認、カワセミ・イソシギも飛んだ。磯島グランド南側の野鳥通りといわれていた樹木伐採地は、この半年で2～3mの草丈になったオオバタクサに一面覆われたが、その上をコシアカツバメ・イワツバメが群舞していて、トータル25種となった。

この一週間迷走した台風10号、今日は大阪に一番近い潮岬の南に停滞していることから、探鳥会での天気にくずれを心配したが、風がほとんどなく雨も降らず、気温も高くないまずまずの日和で終えることができた。



クロツラヘラサギ

Ⅳ 次回は11月3日(日祝)

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。

11月は冬鳥のカモが渡来する季節。昨年は珍鳥

←クロツラヘラサギがいました。

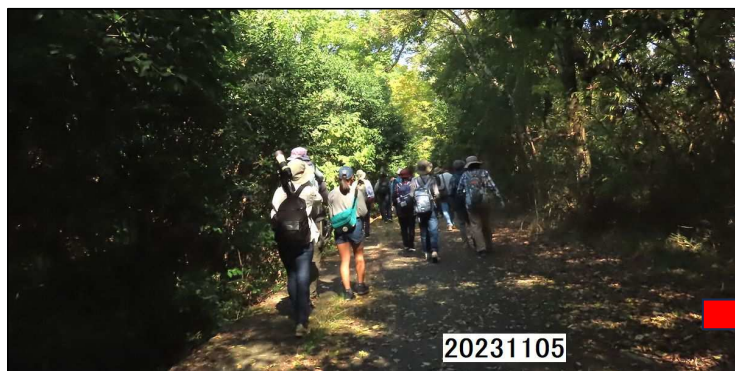
今年はどうでしょうか。

Ⅴ 野鳥通り変化

一年前まで「野鳥通り」と呼ばれていた樹林は、オオタカの森を残して伐採された。経緯がわかるよう4枚の写真を示した。今年は南側の樹林も伐採される予定、シジュウカラなどの観察は厳しくなると思われる。

最近、「50年に一度、100年に一度」といわれるような水害があちこちで頻発しており、河川敷の樹木が流され下流の橋桁に引っかかっている光景を見ることがある。

人々の安全な生活を守るために、河川敷内の樹木伐採はやむを得ない状況にある。



20231105



20231203



20240505



20240107